

第372回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和4年9月1日

議会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、第372回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さまにおかれましては、公私ご多用の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、併せまして、平素から市政の運営につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、第7波による感染拡大により、新規感染者数は高止まりの状況です。このような状況に伴い、発熱等診療・検査医療機関を受診される患者が急増しています。医療のひっ迫を回避するとともに、医療を必要とする方が適切な医療サービスを受けられるよう、市では、県が実施する抗原検査キット配布事業に協力し、症状が軽く、基礎疾患がない方や妊娠していない方など重症化リスクが低い方を対象に、自宅で抗原検査ができるキットを無料配布しています。市ホームページやコールセンターで申込みの受付を行い、

郵送又はドライブスルー方式により配布しており、希望する市民が迅速に抗原検査を利用できるような体制としています。

また、市では引き続き、新型コロナウイルスワクチンの接種を進めています。3回目までのワクチン接種と併せて、60歳以上の方や18歳以上の基礎疾患を有する方に加え、医療従事者及び高齢者施設等の従事者に対する4回目のワクチン接種について、市民の皆さまが安心して受けられるようにしっかりと進めていきます。さらに、2回目のワクチン接種を完了しているすべての市民の方を対象としたオミクロン株対応のワクチン接種については、速やかに実施できるよう準備を進めています。これまでと同様、市内医療機関で行う個別接種と、市が旧志染中学校などで行う集団接種により、進めてまいります。接種を希望する方が迅速かつ円滑に接種を行える体制を確保し、対応してまいります。

市民の皆さまにおかれましては、これまで同様、マスクの着用、3密の回避、手洗いなどの感染予防対策の徹底をお願いいたします。

さて、先日、北播磨地域初となる三木スケートボードパーク

のリニューアル案を発表しました。昨年夏の東京オリンピックでは、スケートボード種目での日本人選手の活躍に日本中が大いに盛り上がりました。これがスケートボード人気に火をつけ、三木スケートボードパークの利用者も増加しました。このような状況を踏まえ、より多くの方にご利用いただくとともに、競技力の向上につなげるため、令和3年12月からワーキンググループを設置し、日本スケートボード協会競技委員やプロ選手、利用者の意見を聴きながら、リニューアル案をまとめました。すでに整備しているセクションを活かしながら、初心者にも利用しやすいセクションを新たに追加することで、これからスケートボードを始められる子どもや、中級者から上級者まで、より多くの方が楽しむことができるパークとしてリニューアルします。また、リニューアルを機に有料公園施設とするため、本定例会において条例改正（案）を提案しております。リニューアル工事については、11月に着手し、来年2月の完成予定であり、市民の皆さま、利用者の皆さまにおいては、楽しみにお待ちしておりますようお願いします。

三木若者ミーティングを8月4日、24日の2日間にわたり開催しました。市の施策や事業などに若者の意見を取り入れ、

三木市を更に魅力あるまちとするため、令和2年度から開催しています。今年度は、「広げようクールチョイス ～若い世代へのPRについて～」をテーマとし、高校生及び大学生が参加しました。1日目に、クールチョイスの概要と三木市の取組内容の紹介、本年3月に連携協定を締結した近畿経済産業局によるデータを活用したアイデア検討の重要性の講演を行い、2日目に、若い世代に対するクールチョイスのPR方法についてのグループワーク及びアイデアの発表を行いました。参加いただいた学生の方々につきましては、三木若者ミーティングへの参加が三木市に更なる愛着を持つきっかけになればと考えます。発表いただいたアイデアについては、若者の意見を形にできるよう、その実現に向けて市において検討を行ってまいります。

このたびの市議会定例会では、条例関係5件、補正予算4件、決算の認定が7件、併せて16件の提案を予定しております。

また、後日、人事案件4件の提案を予定しております。

議員の皆さまにおかれましては、どうか慎重なるご審議をいただき、ご賛同を賜りますようお願い申し上げます、開会のあいさつといたします。